



陸前高田市—佐世保市とのライブシンポジウム

る」ことの重要性を述べられました。最後は聴衆による万雷の拍手喝采で終わりました。

特別講演1では、公益社団法人日本看護協会会長に就任された坂本すが副理事長にこれからの会長としての抱負を交えて「チーム医療と看護の役割」について講演していただきました。特別講演2では、厚生労働省保険局総務課保険システム高度化推進室長 井内 努先生に、平成24年度診療報酬改定を踏まえて「地域医療をとりまく現状と課題」について講演していただきました。

シンポジウムは11題を企画し、地域連携クリティカルパス、人材育成、医療の質、医療連携、医療福祉連携におけるIT活用、病院物流マネジメント、総合診療医・家庭医の育成、医療メディエーション、在宅ケア、褥瘡ケアなど活発な討論をしていただきました。特に、シンポジウム7は、佐世保—岩手ライブシンポジウム「大災害からの復興と絆」というタイトルで、陸前高田市(座長 佐々木 崇先生、4人のシンポジスト)と佐世保市(座長 望月 泉先生と小柳左門先生)によるライブシンポジウムを行いました。大津波の映像も鮮明に映し出され、4人のシンポジストの実際の経験を通して貴重な話をしていただきました。陸前高田市にはまだ宿泊施設もないということで、早朝、各自自家用車で集合してもらいました。また、中継が上手くいくのか繰り返しリハーサルを行った結果、技術的にも完璧でありました。私自身感動し、涙ができました。

1日目の夜、九十九島観光ホテルで懇親会を開催しました。参加者は約400人で、佐世保ジャズ演奏を聴き、佐世保よさこい祭りの出し物の一つ、佐世保よかよかかっちょる隊(佐世保市役所および病院職員による)の演舞を見ていただき、レモンステーキ、ビーフシチューから、ちゃんぽん、皿うどん、五島うどんまで、それに地酒など佐世保・長崎尽くしの料理・飲物とアルコールを満喫していただきました。

最後になりましたが、企画から運営に至るまで、宮崎久義理事長をはじめ、多くの学会員の皆様にご指導・ご支援をいただきましたことに衷心より感謝いたします。また、遠方から佐世保まで来て、ご参加いただいた学会員の皆様に深謝いたします。

学会運営に全力で役割を果たしてくれた当病院および健康保険諫早総合病院職員と、佐世保市立看護専門学校の

皆様にも感謝申し上げます。

日本医療マネジメント学会の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念いたしまして、第14回日本医療マネジメント学会学術総会の開催報告とさせていただきます。

来年は盛岡で皆様方とお会いできるのを楽しみにしております。

第13回日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して 労働者健康福祉機構香川労災病院 出口貴行



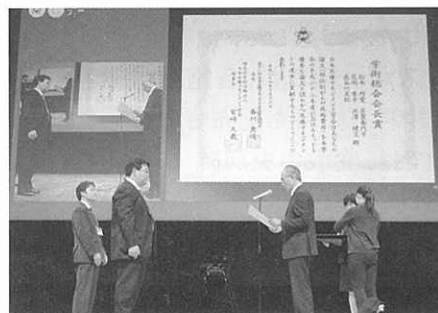
第13回学術総会会長賞を授与される
出口貴行氏と藤本 俊一郎氏

このたびは第13回学術総会会長賞という栄誉ある賞を頂き、第13回日本医療マネジメント学会学術総会会長の香川恵造先生をはじめ本学会理事長の宮崎久義先生

おおよび関係者の方々に深く感謝申し上げます。今回の受賞を励みとして今後とも努力を続けていきたいと思ひます。

さて本論文は、第13回学術総会にて発表させていただいたものを推薦され「脳卒中地域連携クリティカルパスからみた在宅復帰に影響する関連因子の検討」として雑誌投稿しました。この内容は香川シームレスケア研究会で作成・運用された脳卒中地域連携クリティカルパスのデータから、脳卒中疾患の長期間を要する在宅復帰までの経過を急性期・回復期の視点から因子分析するといったものです。脳卒中疾患の病態は複雑であり、在宅復帰にはその他多くの因子も存在すると考えます。重ねて回復期施設を退院してからの連携も重要であり、これからは在宅・介護分野へのさらなる連携にも尽力していきたいと思ひます。末筆ではありますが共著者の藤本 俊一郎先生をはじめ関係者の方々にも深く御礼申し上げます。

第13回日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して 東邦大学医学部社会医学講座講師 松本邦愛



第13回学術総会会長賞を授与される
松本邦愛氏と北澤健文氏

このたび、第13回日本医療マネジメント学会学術総会会長賞という大変名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。第13回日本医療マネジメント学会学術総会会長の香川恵造先生と理事長の宮崎久義先生、おおよび関係者の皆様に心から御礼申し上げます。